

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳 135 道徳 235 道徳 335 道徳 435 道徳 535 道徳 635	どうとく 1 きみが いちばん ひかるとき どうとく 2 きみが いちばん ひかるとき どうとく 3 きみが いちばん ひかるとき どうとく 4 きみが いちばん ひかるとき 道徳 5 きみが いちばん ひかるとき 道徳 6 きみが いちばん ひかるとき
観点				
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び目標、内容等〕	<p>○ 生命の尊厳について 第1,2学年では、毎日当たり前にしていることはどのようなことか、自分の命が支えられていると感じるのはどのようなときかを考える活動等、第3,4学年では、自分は命を大切にするために何ができるか、命はなぜ大切だと思えるかを考える活動等、第5,6学年では、精一杯生きるといことはどのような生き方をすることか、命がつながっているといことはどのようなことかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 自然について 第1,2学年では、草花や動物を育てるときはどのような気持ちで世話をしたらよいか、生き物を守るために大切なことはどのようなことかを考える活動等、第3,4学年では、自然はどのように守られているか、自然を大切にするために自分にできることはどのようなことかを考える活動等、第5,6学年では、自然と人はどのように関わっていくとよいか、自然を大切にしている活動にはどのようなものがあるかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 伝統と文化について 第1,2学年では、自分が知っている昔の遊びはどのようなものがあるか、願いを込めて作られた日本の料理にはどのようなものがあるかを考える活動等、第3,4学年では、昔から使われている道具にはどのようなものがあるか、未来へ残していきたいと思うことは何かを考える活動等、第5,6学年では、大切にしたい伝統や文化にはどのようなものがあるか、自分の生まれ育ったところに対してどのような思いをもっているかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 情報化への対応について 第1,2学年では、みんなが使う場所を扱いどのようなことに気を付けるか、自分の作品を勝手にまねをされてしまったときの気持ちを考える活動等、第3,4学年では、インターネットや電子メールできちんと生活できるようにするための約束や相手に正しく伝えるための工夫を考える活動等、第5,6学年では、インターネットで情報を発信するときに気を付けなければならないことは何か、著作権や肖像権などが必要とされるのはなぜかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列 言語活動については、学習したことを次の行動につなげる「つなげよう」を配置し、問題解決的な学習については、自分ごととして考えることができる発問を示す「考えよう」を配置し、体験的な学習については、役割演技を通して道徳的価値の理解を深める「考えよう」、「つなげよう」を配置するなど、児童が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは10教材、Bは10教材、Cは14教材、Dは6教材、Eは3教材、全体で43教材であり、総ページ数は128ページとなっている。 第2学年～Aは10教材、Bは10教材、Cは14教材、Dは7教材、Eは5教材、全体で46教材であり、総ページ数は152ページとなっている。 第3学年～Aは10教材、Bは12教材、Cは14教材、Dは8教材、Eは8教材、全体で52教材であり、総ページ数は176ページとなっている。 第4学年～Aは9教材、Bは13教材、Cは14教材、Dは7教材、Eは8教材、全体で51教材であり、総ページ数は184ページとなっている。 第5学年～Aは11教材、Bは9教材、Cは15教材、Dは8教材、Eは9教材、全体で52教材であり、総ページ数は196ページとなっている。 第6学年～Aは9教材、Bは10教材、Cは15教材、Dは9教材、Eは9教材、全体で52教材であり、総ページ数は208ページとなっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 各学年に、「学習のまとめ」の区切りに道徳で学んだことを記録する「学びの記録」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童が自らを振り返るための工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年に、長期休業中の自主的な学びや家庭での話し合いにつなげる「夏休みの前に」、「冬休みの前に」等を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</p> <p>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 北海道と関連のある教材は、「知床」など4箇所取り上げられている。</p> <p>○ いじめの問題については、誰にでも公正で公平な態度でいるために、どのような気持ちが必要かを話し合う活動等を取り上げている。</p>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。

